1　地図のみかた

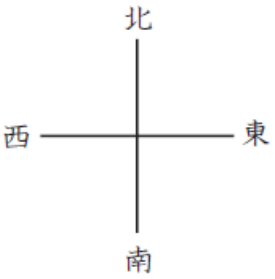
1　方位

方位とは…方角のこと。四方位（東，西，南，北）八方位などの表し方がある。

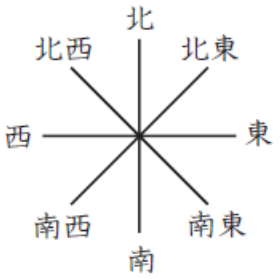
地図上の方位…特にことわりがない場合には，上が北となる。上が北になっていない場合には，方位記号やNの記号を使って北の方角をしめす。南の方角はSの記号を使う。

方位のあらわし方

〈四方位〉



〈八方位〉



方位記号

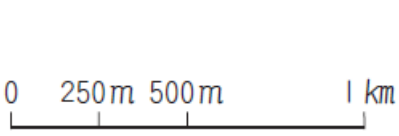
2　縮尺（しゅくしゃく）

地図は，実さいのきょりを一定のわりあいで縮（ちぢ）めて表してある。この縮めたわりあいを縮尺という。

縮尺から実さいのきょりを求めるには，地図上のきょりに縮尺の分母をかけて求めればよい。

縮尺のあらわしかた

1：25000　　$\frac{1}{25000}$



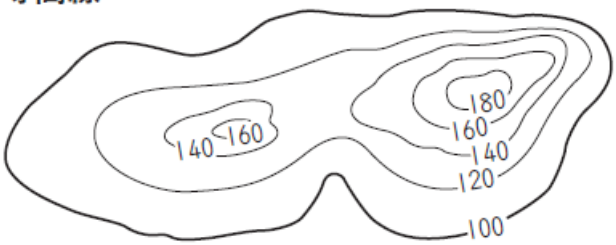
（250mが1cmであらわされる。）

3　土地の高低

等高線とは…土地の高さは等高線で表される。等高線は，海面からの高さが同じ地点を結んで地図にしめした線である。

等高線の間かくが広いほど土地のかたむきがゆるやかで，間かくがせまいほど，土地のかたむきが急になっている。

等高線



4　いろいろな地図記号

建物（たてもの）

- 家が集まっているところ
- 市役所（しやくしょ）
- 町・村役場（やくば）
- 小・中学校
- 高等学校
- 病院
- 警察しょ（けいさつ）
- 交番・駐在所（ちゅうざいしょ）
- 郵便局（ゆうびんきょく）
- 保健所（ほけんじょ）
- 消防しょ（しょうぼう）
- 図書館（としょかん）
- 老人ホーム（ろうじん）
- 博物館・美術館（はくぶつかん・びじゅつかん）
- 神社（じんじゃ）
- 寺院（じいん）
- 裁判所（さいばんしょ）
- 工場
- 発電所（はつでんしょ）
- 灯台（とうだい）
- 風車（風力発電用）（ふうしゃ・はつでん）

交通かんけい

- 道路
- 橋
- 鉄道・駅（てつどう・えき）（JR線）（JR線以外）
- トンネル

土地利用（りよう）

- 田
- あれ地
- 畑
- 果樹園（かじゅえん）（くだもの畑）
- くわ畑
- 茶畑
- 針葉樹林（しんようじゅりん）
- 広葉樹林（こうようじゅりん）

そのほか

- 港（みなと）
- 飛行場（ひこうじょう）
- 温泉（おんせん）
- こう山
- 城あと（しろ）
- 山頂（さんちょう）
- 三角点（さんかくてん）（位置をはかる基準（いち・きじゅん））
- 水準点（すいじゅんてん）（高さをはかる基準）

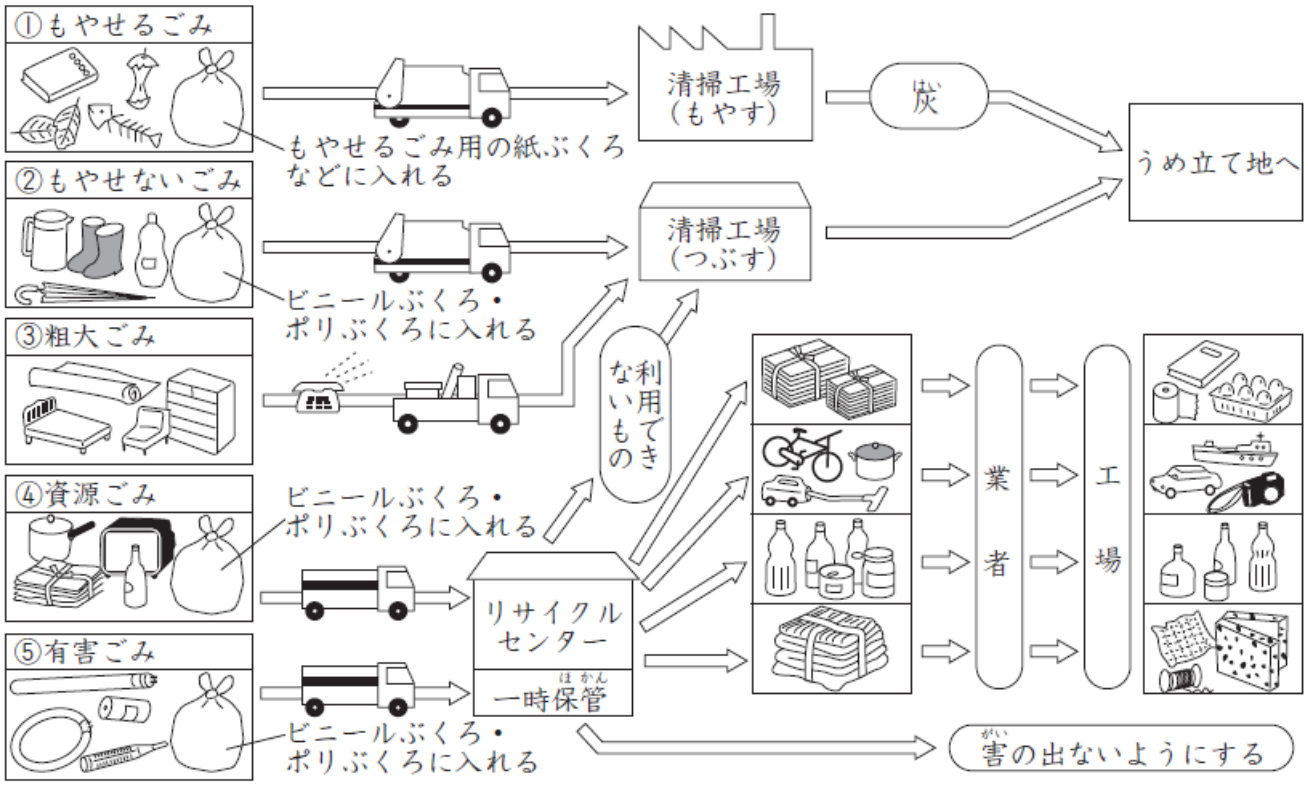
2　けんこうな生活

1　清そう工場のしくみ

もえるゴミ…もやされて，もやしたあとの灰は，うめ立て地で最終処分される。

もえないゴミ…つぶされて，うめ立て地で最終処分される。

ごみの処理の例

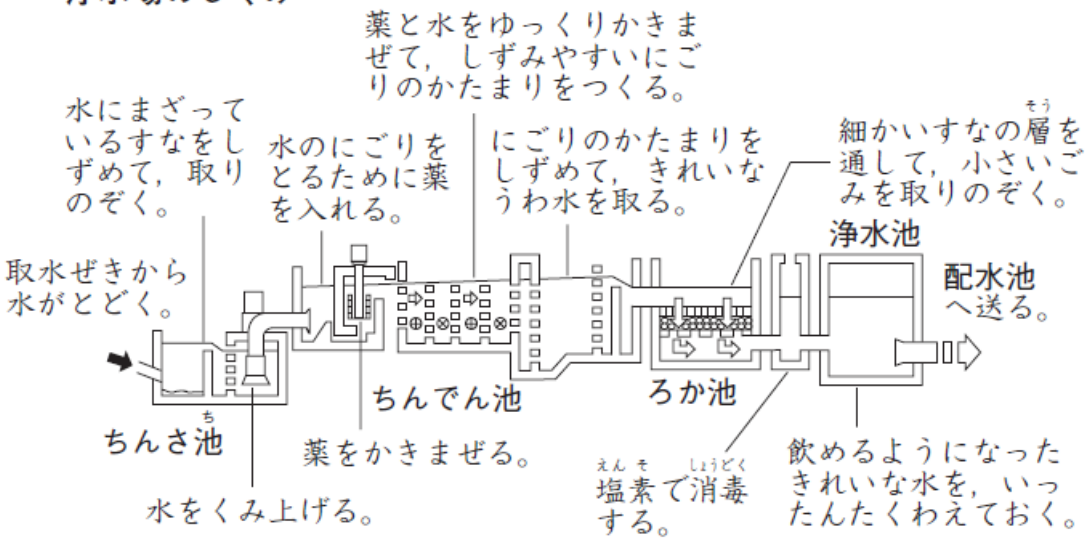


2　水道・下水道

・水道のしくみ

川の水は、とり入れ口から浄水場へ送られ、ちんでん，ろか，消毒という３だんかいの浄水処理をへて，水道かんを通ってわたしたちが飲める水になる。

浄水場のしくみ



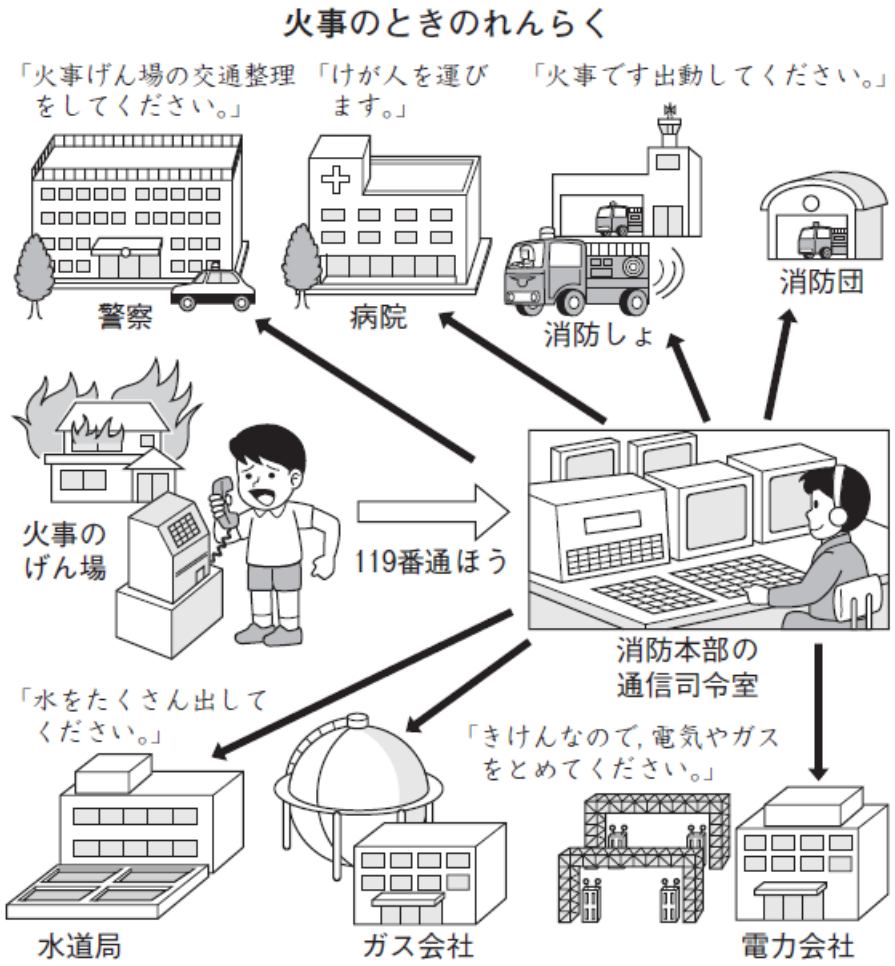
・下水道のしくみ

下水は道路の下にうめられた下水かんに集められ，下水しょり場へ送られる。きれいになった水は，川や海に流すほか，新幹線の車体あらいや，工場の用水に使ったりして再利用している。

3　安全な生活

1　火事をふせぐ

火事を見つけたら，電話で 119 番に通ほうする。消防本部の通信指令室から消防しょや消防団に出動の指令が伝えられ，同時に病院・警察しょ・水道局・ガス会社・電力会社などにも火事がおきたことが伝えられる。



2　交通事故をふせぐ

交通事故をふせぐためいろいろなとりくみが行われている。

・交通安全しせつ

横断歩道　歩道橋　ガードレール　信号機　カーブミラー　など　道路には事故をふせぐためのいろいろなせつびが取りつけられている。

・交通きそく

交通についてのきまりをつくって、標識でわかりやすくしめす。

・通学路の安全…通学路を，スクールゾーンとして，時間をきめて自動車が通れないようにしているところもある。

4　土地の開発（1）

1　用水路をつくる

山がちの日本では土地を有効に使うためのさまざまな努力が行われてきた。かんたくやうめ立てによって土地を新たにつくったり、あれ地や原野を開たくしたり、水の便の悪い土地に川や湖から水を引いて，農業用水（かんがい）や，工業用水，生活用水としてきた。むかしはそまつな道具と人手だけで工事が進められ，石のみとつちだけでトンネルをほり，もっこで土を運ぶなどして用水路づくりが行われた。

2　各地の用水路

＜愛知県の３つの用水路＞

・明治用水…矢作川から岡崎平野に水をひいてつくられた。

・愛知用水…木曽川から水をひいて，知多半島をかんがいしている。

・豊川用水…天竜川の水が，豊川を通して渥美半島にひかれている。

愛知県の３つの用水

3　日本のおもな用水路

・香川用水（香川県）…讃岐平野に吉野川から水をひいている。

・安積疏水（福島県）…猪苗代湖の水を郡山盆地にひいており，農業・工業に利用された。

・琵琶湖疏水（滋賀県）…琵琶湖から京都までひかれ，水力発電が行われた。

・玉川上水（東京都）…多摩川から水をひき，江戸の人々の飲み水として使われた。

日本のおもな用水路

5　土地の開発（2）

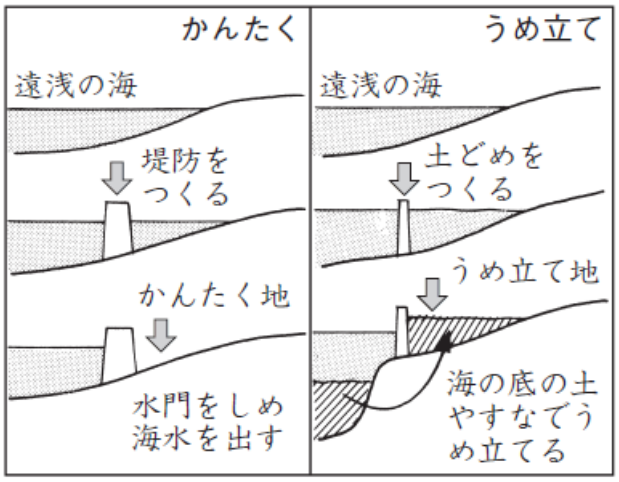
1　開発の種類

・開たく…あれ地や森林・原野を切り開いて，田畑にすることを開たくという。

・かんたく…浅い湾・海・湖などに堤防をつくり，水をくみ出してほし上げ，耕地（田や畑）をつくることをかんたくという。

・うめたて…海や川などを，多くの土やすなでうめて陸地をつくることを、うめたてという。

かんたくとうめ立て



2　かんたくのようす

遠浅の海に堤防をつくり，しおが引くときに水門をあけて海水を流し出す。海水が流れ出たら水門をしめ，はい水路やかんがいのための用水路をつくる。

3　各地の開発

・石狩平野…湿地に草や木が長い間に積もってできた，でい炭地の客土工事がおこなわれた。

・根釧台地…大きぼな開たくが進められ，酪農地帯にうまれ変わった。

・八郎潟…かんたくによってできた土地に大潟村がたんじょうした。

・児島湾…江戸時代から，かんたくによって田や畑をふやしてきた。

・浅間山・八ヶ岳山ろく…原野の開たくがおこなわれてきた。

・有明海…しおの満ち引きの差が大きく，水田にして米をつくろうというかんたくが，昔からさかんにおこなわれてきた。

・東京湾…河口や遠浅の海をうめ立てて，新しい工業用地や住宅地に利用している。

全国のおもな耕地改良

6　いろいろな土地のくらし（1）

1　低い土地のくらし

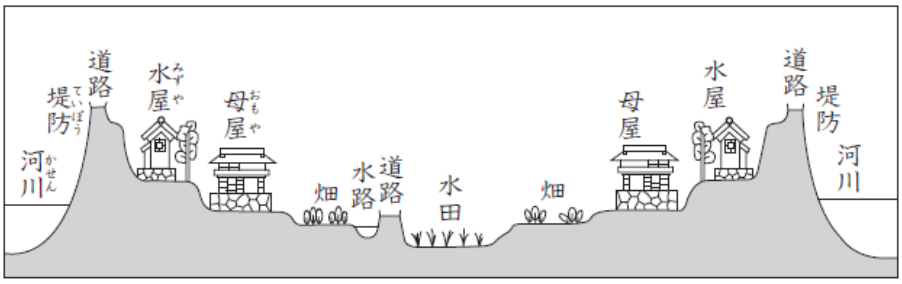
平地の中には，大きな川の下流にあって，川や海とかわらないくらいに低い土地がある。木曽川・信濃川・利根川・筑後川などの大きな川の下流の低地は，昔から何度もこう水（水害）のひ害を受けてきた。水はけの悪い土地は，稲や野菜などの栽培に適さないため，土地の改良にくふうがかさねられてきた。

・**木曽川下流の低地**…昔から村や田畑をこう水から守るため，高い堤防で村をかこんで輪中とよばれる集落をつくった。

・**利根川下流の低地**…日本一流いき面積が広い利根川の下流は水郷地帯とよばれ，霞ケ浦や北浦などの湖がある。

この地域では，台風にそなえて，ふつうより早く米をしゅうかくする早場米の栽培がさかんに行われてきた。

輪中のしくみ



・**筑後川下流の低地**…水郷とよばれる柳川市付近は，ほとんどが浅い海をかんたくしてできた低い土地で，クリークとよばれる水路が網の目のようにはりめぐらされて，かんがいや排水に利用されてきた。

クリーク

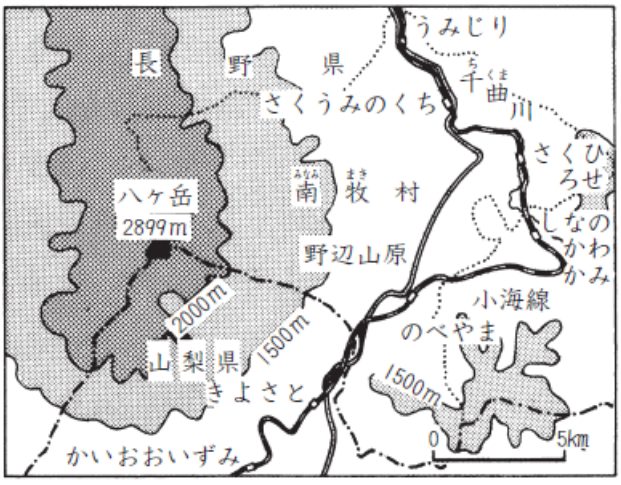
2　高い土地のくらし

日本の国土は山がちで，山地が国土の 4 分の 3 をしめている。高い山のふもとには，けいしゃのゆるやかな高原や，まわりを山地にかこまれた，平らな盆地がひらけているところがある。

・**野辺山原**…長野県と山梨県の両県にまたがる八ヶ岳の東に広がる高原。夏でもすずしい気候を利用して，レタス・キャベツ・はくさいなどの野菜を，夏から秋にかけてしゅうかくしている。これらの野菜は高原野菜とよばれる。

・**甲府盆地**…山梨県の中央部に位置する。日当たりがよく，水はけのよいせん状地は，くだものづくりに向いている。甲府盆地では，ぶどうやももを栽培する農家が多い。

野辺山原



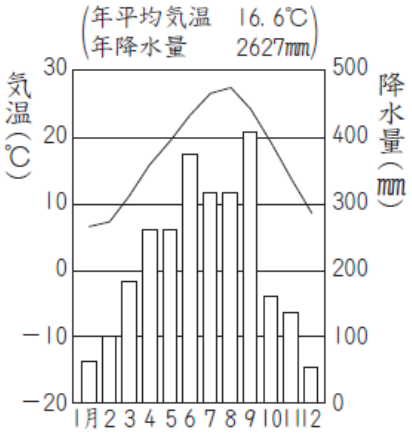
7　いろいろな土地のくらし（2）

1　あたたかい地方のくらし

沖縄島の土地利用

・**沖縄での生活**…年の平きん気温が22度以上あり，梅雨や台風のため雨も多く，年間の降水量は約2000mmと多い。しかしすぐ海に流れてしまうので、水不足になりやすい。昔からの家は，台風にそなえて屋根かわらはしっくいでぬりかためられ，石がきや防風林でかこまれている。コンクリートづくりの家も多くなっている。このような家では水不足にそなえ貯水タンクをもつ家も多い。さとうきびは，あたたかい沖縄の気候に合った作物で，水不足や風にも強いため，昔からさかんにつくられてきた。

高知市の気候グラフ



・**高知平野の生活**…高知平野は冬でも晴れの日が多く，日照時間も長くしものおりない時期が長いなどの気候の特色をいかし，ビニルハウスなどを使った野菜の早づくりが行われている。他の産地でしゅうかくが少なくなる秋から春にかけてピーマン・なす・トマト・きゅうりなどの野菜を，東京や大阪など全国各地に出荷している。

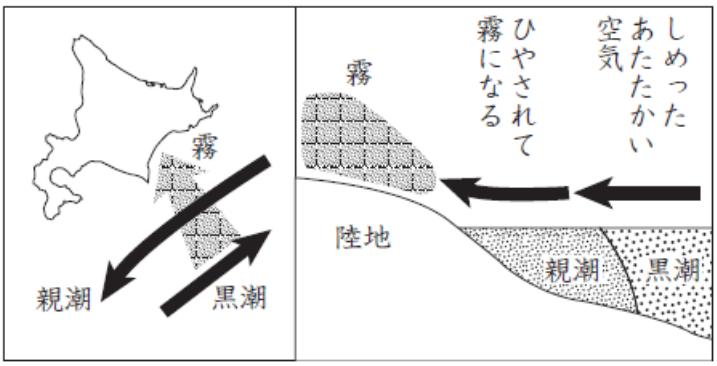
2　寒い地方のくらし

・**根室地方の生活**…冬の寒さがきびしく，平きん気温が0度以下になる月が4か月もある。そこで，人々は広い土地に牧草をつくり，乳牛をかって牛乳やバター・チーズをつくる，らく農をおこなうようになった。

パイロットファームという実験農場が根釧台地につくられ，大規模ならく農の村づくりがおこなわれている。

2月になると，オホーツク海から流氷がおしよせてきて、この地方の気温をいっそう下げる。また，北海道の太平洋側ではきりが多く発生しやすく，冷害にみまわれることがある。

濃霧が発生する理由



・**北陸地方の生活**…新潟県の十日町市は，日本で最も雪が多く，冬の間は農業ができないため，織物をつくったり，他の地方へ出かせぎに出たりしてきた。町の通りでは，昔は家のひさしを長くのばしたがんぎをつくり，その下を歩道としてきた。雪国の家のまどは，寒さをふせぐために二重まどを用いたりしている。

8　日本の国土

1　日本の位置

日本は，ユーラシア大陸の東のはしにある島国で，四方を海にかこまれている。日本列島は北東から南西にかけて細長く弓のようにつらなっていて，その長さはおよそ 3000km，面積はおよそ 38 万㎢である。日本の位置を緯度と経度であらわすと，北緯 20 度から 46 度，東経 122 度から 154 度の間にあるといえる。

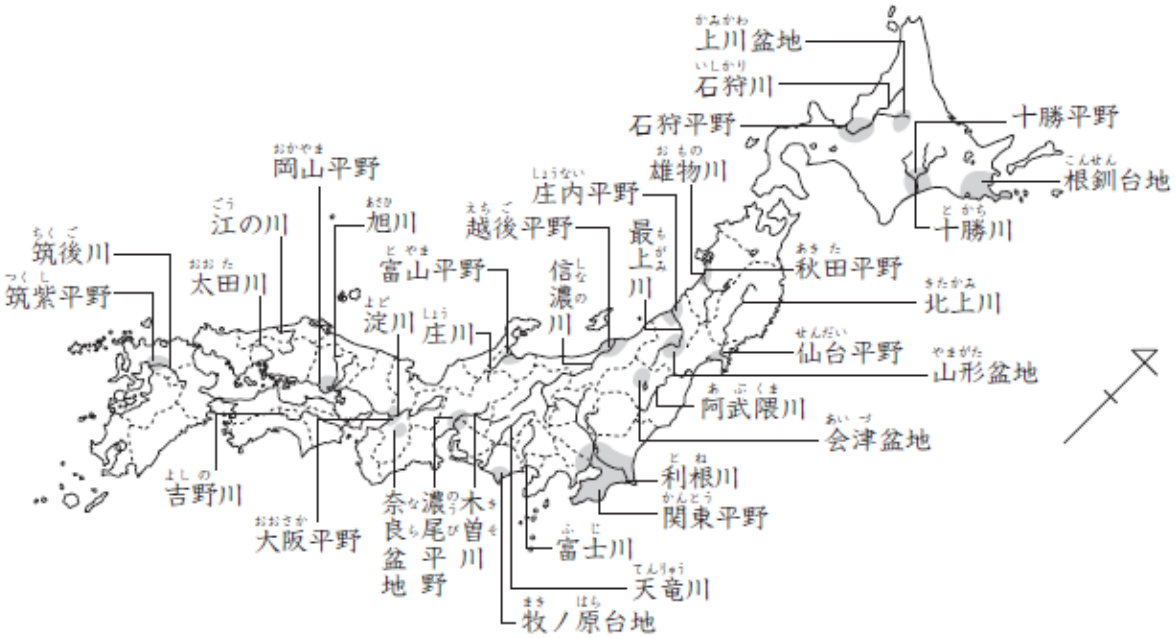
2　さまざまな地形

・山地・山脈…日本の国土のおよそ 4 分の 3 は山地である。

・川…日本の川は，大陸の大きな川とくらべると，短くて流れが急である。

・平地…大きな川が海や湖にそそぐあたりに，平野は広がっている。平地には，まわりを山にかこまれた盆地や，まわりの平地よりいちだんと高くなっている台地などもある。

日本の川と平地



3　日本の気候

日本の気候は大部分が温帯にぞくし，四季の変化がはっきりしている。日本列島は，6 月から 7 月にかけて梅雨に入り，長雨が降り続く。夏から秋にかけては，赤道付近でうまれた台風が，発達しながら北上する。沖縄では台風によるひ害が大きいときもある。

4　都道府県庁所在地が都道府県名とちがう名前の都市

・北海道→札幌市　・岩手県→盛岡市　・宮城県→仙台市　・群馬県→前橋市
・栃木県→宇都宮市　・茨城県→水戸市　・神奈川県→横浜市　・山梨県→甲府市
・石川県→金沢市　・愛知県→名古屋市　・三重県→津市　・滋賀県→大津市
・兵庫県→神戸市　・島根県→松江市　・愛媛県→松山市　・香川県→高松市
・沖縄県→那覇市